



Photo by Kouji Okamoto

Island City Central Park

65 アイランドシティ中央公園

東区香椎照葉4丁目

アイランドシティの中央部に位置する面積約15haの中央公園は総合設計研究所及び伊東豊雄建築設計事務所により設計が行われた。2005年に開催された「全国都市緑化ふくおかフェア」の会場となった。

写真撮影 ナガノコンサルタント株式会社 田島 佳一

Gringrin

66 ぐりんぐりん

設計 / 伊東豊雄建築設計事務所
東区香椎照葉4丁目(アイランドシティ中央公園)
2005年

アイランドシティ中央公園のセンター施設「ぐりんぐりん」は斬新な構造計画による有機的な形が特徴。設計者である伊東豊雄は世界で活躍する建築家の一人。

The Weave Folly

67 織物のフォリー

設計 / 松岡恭子, ラチャボン・シューチュウアイ,
江口聡一郎, 高木研作
東区香椎照葉4丁目(アイランドシティ中央公園)
2005年

アイランドシティの挑戦

博多湾東部で造成が進む広さ約400haの島、アイランドシティは、ふ頭や港湾物流施設など暮らしを支える「みなとづくりエリア」と、将来1万8千人が暮らし住宅地や新産業の集積拠点などからなる「まちづくりエリア」で構成されている。

「みなとづくりエリア」では、輸出入されるコンテナ貨物の増加や船舶の大型化に対応するために、最新鋭の国際コンテナターミ

ナルの整備が進められている。

「まちづくりエリア」では、緑豊かな「照葉(てりは)のまち」への入居や、アイランドシティのランドマークとなる超高層住宅の建設が進行中だ。

アイランドシティは、和泊干潟など周辺の豊かな自然環境を保全・創造し、美しい風景と多様な生物がみられる人と自然が共生するまちをめざしている。

その他のエリア

Extra-area





Marine World Uminonakamichi (Aquarium)

68 マリンワールド海の中道

設計 / 磯崎新アトリエ
東区大字西戸崎18-28
1989年

Hotel Uminonakamichi

69 ホテル海の中道

設計 / 三浦紀之建築工房、環境開発研究所、住宅都市整備公団
東区大字西戸崎18-25
1987年



Hakozaiki Shrine

70 笹崎宮

設計 / 不詳
東区箱崎1-22-1
1546年



72



Administration Bureau I, Kyushu Univ.

71a 九州大学事務局本部

School of Engineering Main Building, Kyushu Univ.

71b 九州大学工学部本館

設計 / 倉田謙
東区箱崎6-10-1
1925 / 1930年

Najima-bashi Bridge

72 名島橋

設計 / 後藤龍雄 + 福岡県第2号国道改築事務所
東区名島2~箱崎7
1933年

福岡国際マラソンの実況中継で必ず登場する名島橋。福岡では数少ない近代土木遺産の一つ。当時としては珍しい鉄筋コンクリート7連アーチの構造様式、重厚な親柱や高欄、歩道部のバルコニーなどが特徴的である。



Ribbon Citeo Nakagawa Area
73 リボンシティオ那珂川地区
 博多区美野島4丁目 他

那珂川の親水空間の再生を軸に、景観ガイドラインを定め、公共、地域住民、企業がワークショップ等を通して協働・連携し進めた環境整備事業である。

Fukuoka Takamiya Konkokyo Church
74 金光教福岡高宮教会
 設計／六角鬼又計画工房
 南区高宮5-7-4
 1980年

円筒形が宙に浮いたような形状の会堂(1980年)、および扇形のファサードによる三信ホール(1997年)。各々の独特なフォルムの対比が印象的なデザインとなっている。

Kyushu Univ. Ohashi Campus Bldg. 1, etc.
75 九州大学大橋キャンパス 1号館ほか
 設計／香山壽夫+同校環境設計学科
 南区塩原4-9-1
 1971年

1968年設立された旧・九州芸術工科大学の専門棟部分。20世紀の巨匠ルイス・カーンに師事し、帰国した香山壽夫の最初の大きな作品であり、彼は開校当初3年間教鞭をとる。広場を囲む配置や建物の形態は、カーンの影響を感じさせる。



Flower Gallery Marji Orchids
76 フラワーギャラリー マージ・オーキッド
 設計／西岡弘建築工房
 中央区浄水通8-15
 1986年

Fukuoka City Botanical Garden Greenhouse
77 福岡市植物園温室
 設計／瀧光夫建築・都市設計事務所
 中央区小笹5-1-1
 1980年



Hirao Villa
78 平尾山荘
 中央区平尾5丁目
 1956(改)年

福岡藩士の三女として生まれた歌人・野村望東尼(1806~1867)が、隠遁生活を送るため建てた。長州藩から逃れてきた討幕の雄・高杉晋作をかくまった歴史的な史跡でもある。現在の建物は明治時代に復元されたものだが、付近の都市化が急速に進む中、自然が豊かに保たれている。



Fukuoka Univ. 60th Anniversary Memorial Hall (Helios Plaza)

79 福岡大学60周年記念館 (ヘリオスプラザ)

設計/横総合計画事務所
城南区七隈8-19-1
1996年

Fukuoka Univ. A-bldg. (Classrooms)

80 福岡大学A棟(講義棟)

設計/横総合計画事務所, スタジオ建築計画,
山本・堀アーキテクト
城南区七隈8-19-1
1996年



Yusentei Garden

81 友泉亭公園

城南区友泉亭1-46

6代福岡藩主黒田継高(1703~1775)が旧早良郡田島村に設けた別荘。藩主の保養の場、緊急時の避難場所、政治・軍事の合議の場として利用された。友泉亭の名前は久世通夏「世に耐えぬ暑さも知らず湧き出する泉を友と結ぶ庵を」という言葉が由来である。「筑前国続風土記附録」には、福岡城を遠望し樋井川の流れを水源にした池泉や中島を配した庭園の様子が残されている。

Chayama Central Park

82 茶山中央公園

城南区茶山2丁目

Satsuki Kindergarten

83 さつき幼稚園

設計/シーラカンズK&H
早良区西油山154
2006年

内部見学不可

博多小学校も手掛けたシーラカンズK&Hの設計である。“園外に出かけ、自然と触れ合うことで生きる力や知識を得る”という教育理念を最大限に生かすコンセプトで建てられた。幼稚園の園舎は、木のぬくもりを感じさせる内装、自然光や風をできるだけ取り入れる構造、広々としたスペースでゆとりあるものになっている。

Hibaru Kohitsuji Kindergarten

84 桧原こひつじ幼稚園

設計/村山建築設計事務所, 大島設計
南区桧原2-40-1
1985年

内部見学不可

シュタイナー教育を実践する幼稚園の園舎。思想家、教育学者として活躍したルドルフ・シュタイナーのもうひとつの顔である建築家としてのスタイルが踏襲されており、窓や屋根などに独特の有機的形態が表現されている。





Kinoshita Medical Clinic
85 木下医院
 設計/葉デザイン事務所
 西区大字小田51-1
 1979年

葉祥栄の初期の建築作品の真骨頂である、プロダクトデザインのアプローチが素晴らしい。たった一つの建築が放つデザイン力が景観を形成している好例であり、竣工後四半世紀を超えた現在もこの作品は不思議な力を持ち続ける。



Kitazaki Public Hall
86 北崎公民館
 設計/環・設計工房
 西区大字宮浦1978-1
 2004年

2001年から開始された、福岡市の公民館の公募型プロポーザルによる設計公民館の第一弾。鮎川透+環・設計工房による住民とのワークショップを伴う形式で設計され、その後毎年プロポーザルによる公民館が市内につくられている。



Dragon King Rabbits / Hiroshi Yoshimizu
87 Dragon King Rabbits
 作者/吉水浩
 西区姪浜駅南(姪浜駅南口駅前広場)
 2001年

Fukuoka Airport International Terminal
88 福岡空港 国際線ターミナル
 設計/梓設計・MHS・HOK・三島設計JV
 博多区大字青木739
 1999年



「快適で、分かりやすく、使いやすい」をテーマに設計された空の玄関口。内部は福岡とアジアなど世界の架け橋をイメージしたスパン(背骨・軸)を中心に構築されて、開放感が強調される一方、快適でバリアフリーにも配慮した、人にやさしい空間となっている。

新しい「まち」に出会いにいこう。

わたしたちの日々の生活に溶け込んでいる風景、その中には多くの魅力的な建築物やアートが存在し、四季の中で姿を変えながら、まちの景観を構成しています。もちろん様々なお祭りや屋台など、博多のまちの風物詩も大切な存在です。そして博多湾から見た美しい夜景のように自然的地形と建造物が調和する景観は、常にわたしたちの目を楽しませてくれます。

このような建築、アート、そして自然など、まちを構成する幅広く奥深い景観から「よかとこ」(博多弁で「良いところ」)を厳選したのがこのマップです。制作サイドでも、この建物にはこんな由来が、こんなところに素晴らしいアートが、という風に再発見や驚きが数多くありました。みなさんもこのマップを持ってまちを探検するなどして、景観への興味をより持っていただければと思います。

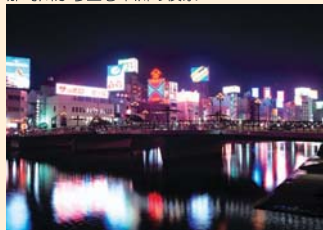
活用できるウォーキングマップということで、デザインやレイアウトは利用者に見やすく使いやすいものを目指し

ました。福岡のまちを訪れた観光の方々にはもちろん、市民のみなさんにもこのまちの魅力を再発見するツールとして使っていただければ幸いです。

より多くの方が景観の大切さを認識し、美しく楽しめる景観づくりを目指し努力することで、福岡、ひいては日本中のそれぞれのまちが魅力的なものになればとわたしたちは考えています。

新しい「まち」との出会い。このマップをきっかけに「ワクワク」するFUKUOKAをもっと知り、このまちならではの景観に親しんでもらえればと思います。(S・H)

那珂川から望む中洲の夜景



博多湾の夜景

